
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2008年第4週
(1月21日～1月27日)

* 2008年1月30日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成20(2008)年1月31日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年4週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		1週	2週	3週	4週	年累計	4週	年累計
一 類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ベスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二 類	急性灰白髄炎							
	結核	23	85	61	50	219	287	1129
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
三 類	コレラ							1
	細菌性赤痢		3	3	2	8	6	29
	腸管出血性大腸菌感染症		1		1	2	12	52
	腸チフス		1		1	2	1	3
	パラチフス		1			1		1
四 類	E型肝炎				1	1	2	3
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1			1	2	10	17
	エキノкокクス症							
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病	1	1	1		3	1	26
	デング熱		1	1		2		6
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア	1		1	1	3		2
野兔病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症		1		1	2	7	49	
レプトスピラ症								
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		1週	2週	3週	4週	年累計	4週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢		4	2	8	14	16	44
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1				1	1	13
	急性脳炎 **			1	2	3	4	14
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病						4	7
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		2	1	1	4	1	8
	後天性免疫不全症候群	1	12	6	15	34	21	61
	ジアルジア症			1		1		4
	髄膜炎菌性髄膜炎						1	1
	先天性風しん症候群							
	梅毒		2	3	5	10	10	36
	破傷風		1	1		2		5
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症						2	3	
風しん				2	2	3	20	
麻しん	3	7	16	32	58	205	659	
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2008/1/30集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 50件 肺結核31件、その他19件で、推定感染地は国内45件、インド1件、ブルキナファソ1件、不明3件であった。年齢は10歳代1件、20歳代6件、30歳代6件、40歳代3件、50歳代8件、60歳代6件、70歳代11件、80歳代7件、90歳代2件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 2件 フレキシネル1件、不明1件(確認中)で、推定感染地は国内1件、インド1件、推定感染経路はともに飲食物による経口感染であった。国内感染の1件では外食との関連が疑われ、調査中である。

腸管出血性大腸菌感染症 1件 無症状病原体保有者で、血清型・毒素型はO157(VT2)、年齢は20歳代であった。

腸チフス 1件 推定感染地はインドであった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 推定感染地は国内。飲食物による経口感染が疑われているが、詳細は不明である。

A型肝炎 1件 推定感染地はインド、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

マラリア 1件 熱帯熱マラリアで、推定感染地はコートジボアールであった。

レジオネラ症 1件 肺炎型で、推定感染地はイタリアであった。感染経路は不明。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 8件 腸管アメーバ症7件、腸管外アメーバ症1件で、推定感染地は国内5件、フィリピン/グアム1件、オランダ1件、不明1件、推定感染経路は飲食物による経口感染4件、性的接触2件(異性間1件、性別不明1件)、不明2件であった。

急性脳炎 2件 病原体はインフルエンザA 1件、不明1件、年齢は10歳未満1件、10歳代1件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 C群で、患者は60歳代。血液と尿から菌が検出されており、尿路感染を契機とした発症が疑われている。

後天性免疫不全症候群 15件 無症候キャリア8件、AIDS 5件、その他2件。推定感染地は国内13件、不明2件で、推定感染経路は性的接触13件(同性間8件、異性間4件、性別不明1件)、不明2件であった。

梅毒 5件 早期顕症梅毒I期2件、無症候梅毒3件で、推定感染経路は性的接触4件(異性間3件、性別不明1件)、不明1件であった。

風しん 2件 1件は5歳未満の男性でワクチン接種歴無し、他の1件は20歳代女性でワクチン接種歴が有った。全数把握対象疾患になって以来、都内では初の報告である。

麻しん 32件 麻しん(検査診断例)15件、麻しん(臨床診断例)11件、修飾麻しん(検査診断例)6件で、年齢は1歳未満2件、1~4歳5件、5~9歳1件、10歳代12件、20歳代7件、30歳代4件、40歳代1件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は無し20件、1回2件、不明10件であった。

定点把握対象疾患 報告数 2008年4週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		1週	2週	3週	4週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	17	44	17	27	0.18	148	150
	咽頭結膜熱	11	37	38	16	0.11		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	167	225	285	1.93		
	感染性胃腸炎	447	1,689	1,318	1,355	9.16		
	水痘	152	327	152	225	1.52		
	手足口病	1	14	10	12	0.08		
	伝染性紅斑	14	44	31	30	0.20		
	突発性発しん	18	79	77	90	0.61		
	百日咳	0	1	2	3	0.02		
	ヘルパンギーナ	1	4	2	3	0.02		
	流行性耳下腺炎	7	52	29	26	0.18		
	不明発しん症 (注1)	1	6	10	10	0.07		
	MCLS (川崎病) (注1)	0	6	3	3	0.02		
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	567	1,529	1,595	2,469	8.60	287	290
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0.00	39	39
	流行性角結膜炎	7	22	14	8	0.21		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	0	0	0	0.00	24	24
	無菌性髄膜炎	1	1	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	3	3	6	2	0.08		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		
2008/1/30集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS (川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微増した。今後急増する可能性は低いと思われるが、念のため推移に注意が必要である。
- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は、過去5年平均の同時期と比べて、2分の1程度となっている。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は増加し、2007年12月の小ピークと同レベルとなった。今後の推移に注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

* インフルエンザに関するコメントは13～14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年4週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	8			13	3			2	1	
～11か月	11	1	2	54	17		1	36		
1歳	7	2	8	147	43	2		44		2
2歳		1	17	100	41	5	3	6		1
3歳	1	4	19	95	40	2	1			
4歳		1	44	124	39	2	2			
5歳		2	43	88	17		5	1		
6歳		2	31	87	7	1	5	1		
7歳		1	35	67	6		6			
8歳			26	60	3		3			
9歳			12	65			1			
10～14歳		1	24	137	5		2			
15～19歳			2	43						
20～29歳		1	22	275	4		1		2	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	27	16	285	1355	225	12	30	90	3	3
先週比	10	-22	60	37	73	2	-1	13	1	1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		2		8		
～11か月	1	2	1	36		
1歳	1		1	84		
2歳	5	4	1	99		
3歳	1			119		
4歳	1			170		
5歳	3	2		230		
6歳	4			222		
7歳				190		
8歳	5			171		
9歳	1			125		
10～14歳	3			301		
15～19歳	1			86		
20～29歳				164		
30～39歳				266		4
40～49歳				123		2
50～59歳				42		1
60～69歳				25		1
70～79歳				5		
80歳以上				3		
合計	26	10	3	2469		8
先週比	-3			874		-6

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2008年4週

	風しん	麻しん
0歳		2
1歳		3
2歳		
3歳	1	
4歳		2
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		1
9歳		
10～14歳		5
15～19歳		7
20～29歳	1	7
30～39歳		4
40～49歳		1
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	2	32

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年4週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	2		1	8	1					
中央区			3	15	1	1		3		
みなと	3	1	10	60	23			2		
新宿区	2		5	32	6					
文京	1			15	1			2		
台東			5	35		2	1	1		1
墨田区	1		4	15	3			4		
江東区			7	80	8			5		
品川区			5	82	5		4	3		
目黒区			6	12	2			1		
大田区	2	4	8	125	27	1	3	4	1	
世田谷			6	59	6			6		
渋谷区	1		4	43				1		
中野区			21	65	9	2	1	1		1
杉並	1		3	84	4	1	1	1		
池袋			2	22	1			1		
北区			1	48	12			4		
荒川区	1		3	20	1		1	4	1	
板橋区			3	29	4		1			
練馬区			8	28	10	1		3		
足立			8	29	8		1	3		1
葛飾区			9	33	19	1	1	3		
江戸川	5	1	33	71	5			6		
八王子市	3	2	27	69	16		2	7	1	
西多摩		1	12	23	7			1		
南多摩	2		8	24	7	1		4		
町田			46	86	17	1	10	5		
多摩立川		1	6	20	5	1				
多摩府中		1	14	50	3		2	7		
多摩小平	3	5	17	69	14		2	8		
島しょ				4						
東京都合計	27	16	285	1,355	225	12	30	90	3	3

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数
【保健所別】2008年4週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				9		
中央区	2			22		
みなと			1	31		
新宿区				37		2
文京				16		2
台東	1			30		
墨田区		1		32		
江東区				55		1
品川区		1		55		
目黒区	4			11		
大田区				146		
世田谷	8			169		
渋谷区				33		
中野区				57		
杉並				96		1
池袋				62		
北区	1			50		
荒川区	1	1		49		
板橋区		2		48		
練馬区	3			141		
足立	1			80		1
葛飾区	1			104		
江戸川	1			120		
八王子市	2	1	1	163		
西多摩				119		
南多摩	1			119		
町田		3		72		
多摩立川		1		113		
多摩府中			1	219		
多摩小平				200		1
島しょ				11		

東京都合計	26	10	3	2,469	-	8
-------	----	----	---	-------	---	---

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		1
新宿区		1
文京		
台東		
墨田区		
江東区		4
品川区		1
目黒区	1	2
大田区		2
世田谷	1	1
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		4
練馬区		6
足立		2
葛飾区		1
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		4
町田		
多摩立川		
多摩府中		2
多摩小平		1
島しょ		

東京都合計	2	32
-------	---	----

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2008年4週

定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	0.50		0.25	2.00	0.25					
中央区			1.00	5.00	0.33	0.33		1.00		
みなと	0.50	0.17	1.67	10.00	3.83			0.33		
新宿区	0.33		0.83	5.33	1.00					
文京	0.33			5.00	0.33			0.67		
台東			1.67	11.67		0.67	0.33	0.33		0.33
墨田区	0.33		1.33	5.00	1.00			1.33		
江東区			1.75	20.00	2.00			1.25		
品川区			0.83	13.67	0.83		0.67	0.50		
目黒区			2.00	4.00	0.67			0.33		
大田区	0.22	0.44	0.89	13.89	3.00	0.11	0.33	0.44	0.11	
世田谷			0.75	7.38	0.75			0.75		
渋谷区	0.25		1.00	10.75				0.25		
中野区			3.50	10.83	1.50	0.33	0.17	0.17		0.17
杉並	0.17		0.50	14.00	0.67	0.17	0.17	0.17		
池袋			0.40	4.40	0.20			0.20		
北区			0.25	12.00	3.00			1.00		
荒川区	0.50		1.50	10.00	0.50		0.50	2.00	0.50	
板橋区			0.60	5.80	0.80		0.20			
練馬区			1.60	5.60	2.00	0.20		0.60		
足立			1.60	5.80	1.60		0.20	0.60		0.20
葛飾区			2.25	8.25	4.75	0.25	0.25	0.75		
江戸川	1.00	0.20	6.60	14.20	1.00			1.20		
八王子	0.75	0.50	6.75	17.25	4.00		0.50	1.75	0.25	
西多摩		0.20	2.40	4.60	1.40			0.20		
南多摩	0.50		2.00	6.00	1.75	0.25		1.00		
町田			11.50	21.50	4.25	0.25	2.50	1.25		
多摩立川		0.20	1.20	4.00	1.00	0.20				
多摩府中		0.10	1.40	5.00	0.30		0.20	0.70		
多摩小平	0.50	0.83	2.83	11.50	2.33		0.33	1.33		
島しょ				4.00						

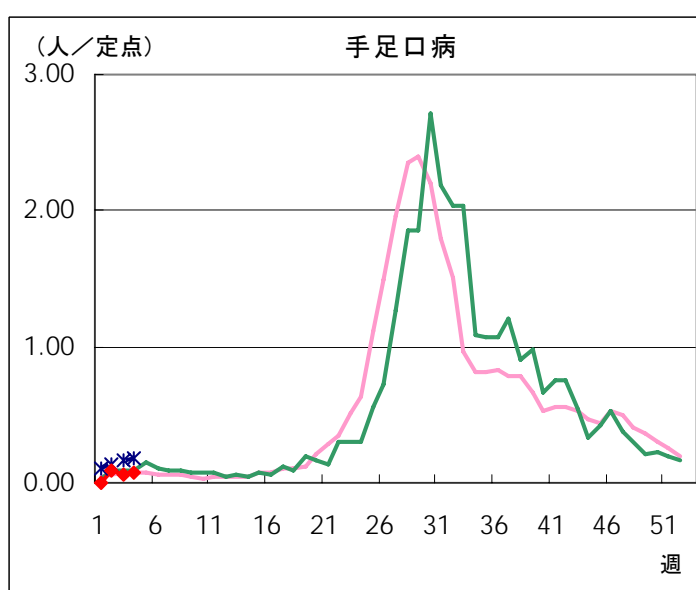
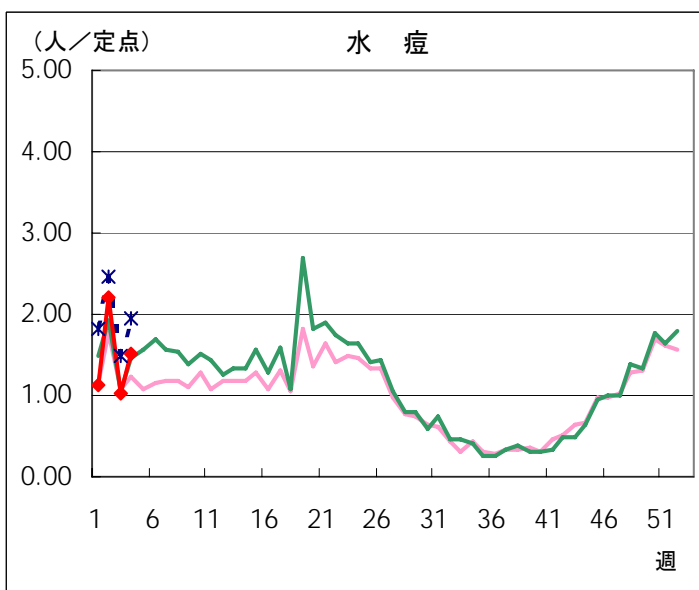
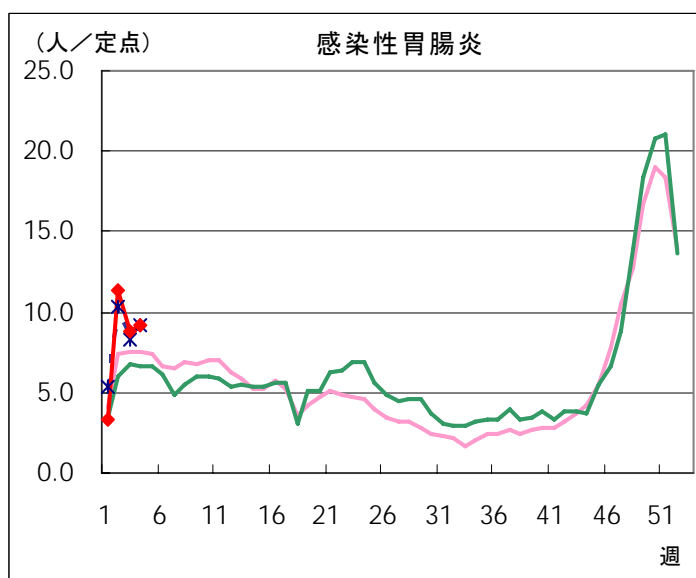
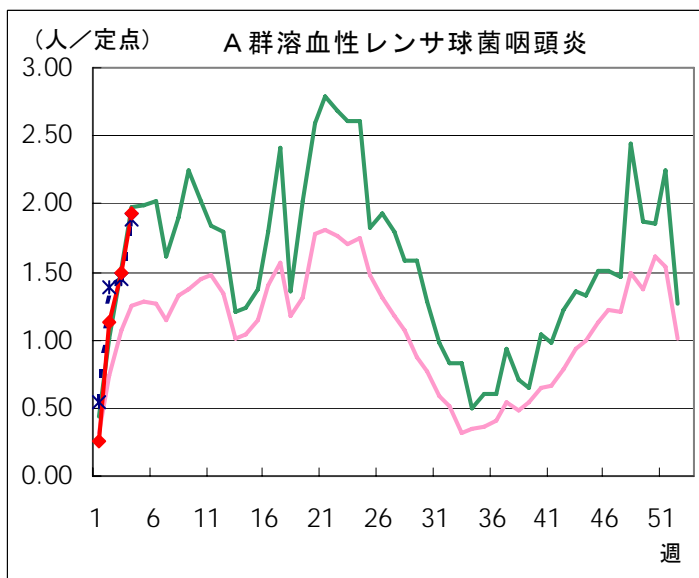
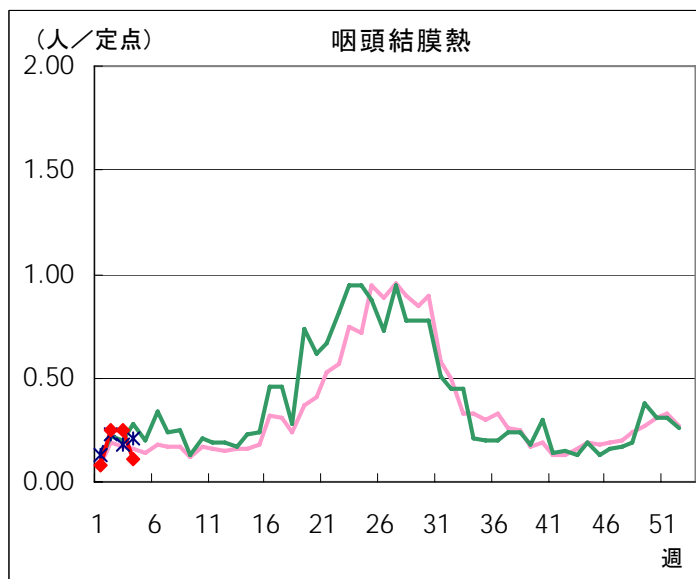
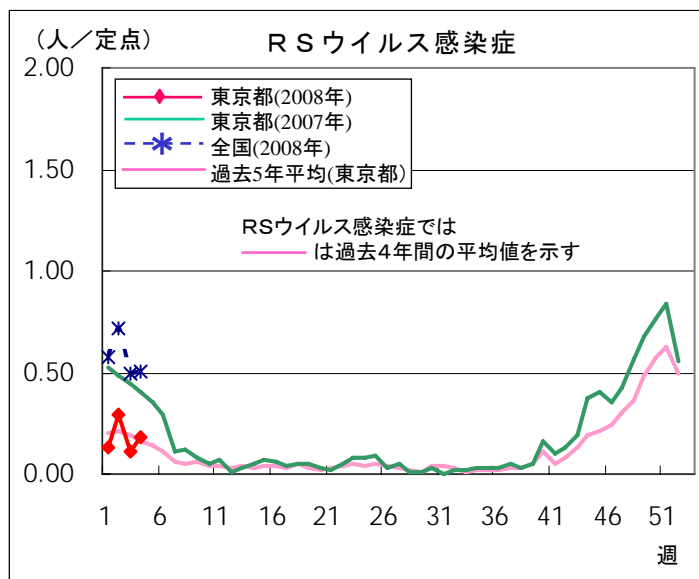
定点当り報告数	0.18	0.11	1.93	9.16	1.52	0.08	0.20	0.61	0.02	0.02
---------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

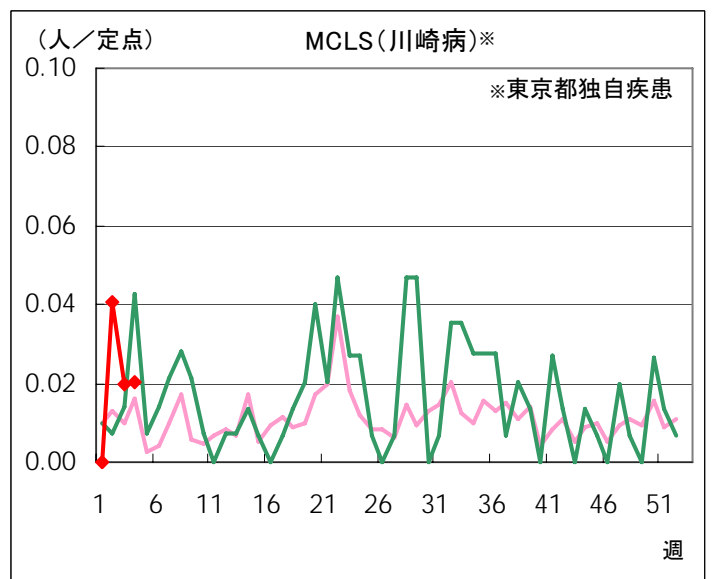
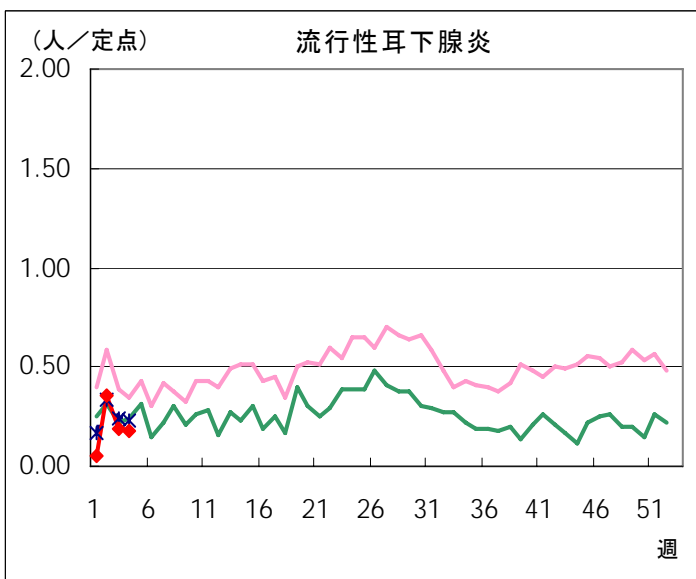
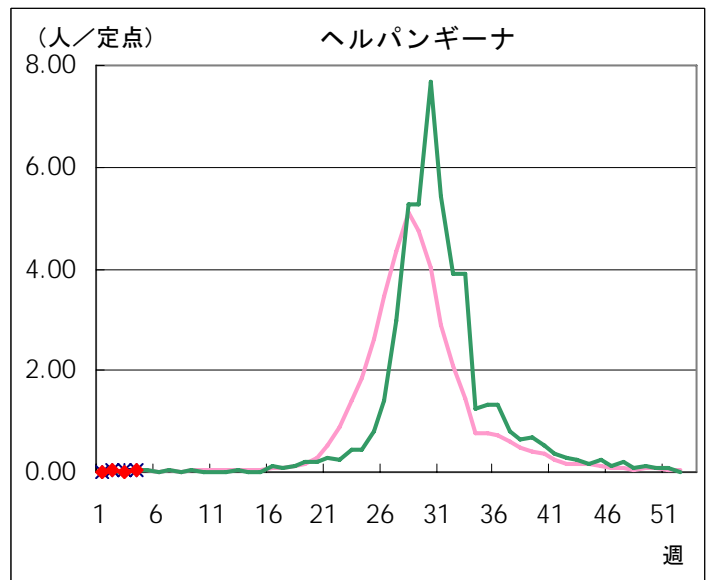
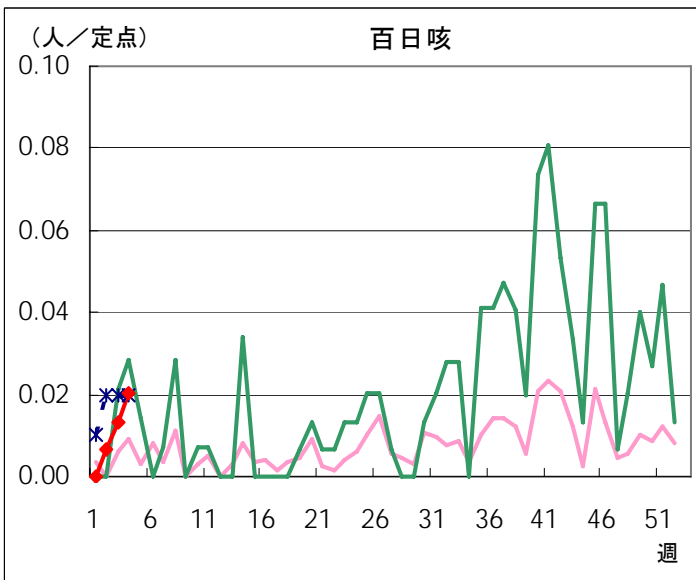
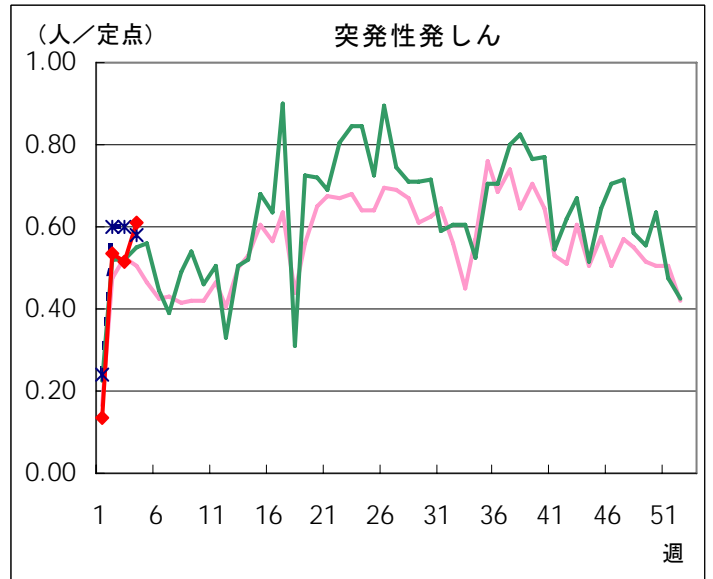
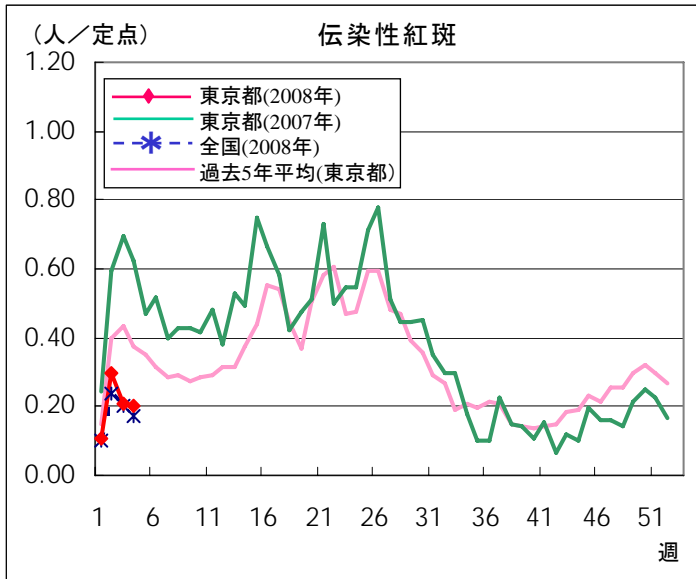
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)		流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎
千代田				1.80		
中央区	0.67			5.50		
みなと			0.17	3.88		
新宿区				4.11		1.00
文京				3.20		2.00
台東	0.33			6.00		
墨田区		0.33		5.33		
江東区				6.11		1.00
品川区		0.17		5.50		
目黒区	1.33			1.83		
大田区				9.13		
世田谷	1.00			10.56		
渋谷区				5.50		
中野区				6.33		
杉並				8.00		1.00
池袋				7.75		
北区	0.25			7.14		
荒川区	0.50	0.50		12.25		
板橋区		0.40		4.36		
練馬区	0.60			11.75		
足立	0.20			6.67		0.50
葛飾区	0.25			11.56		
江戸川	0.20			10.00		
八王子	0.50	0.25	0.25	16.30		
西多摩				13.22		
南多摩	0.25			13.22		
町田		0.75		8.00		
多摩立川		0.20		9.42		
多摩府中			0.10	10.43		
多摩小平				14.29		0.50
島しょ				5.50		

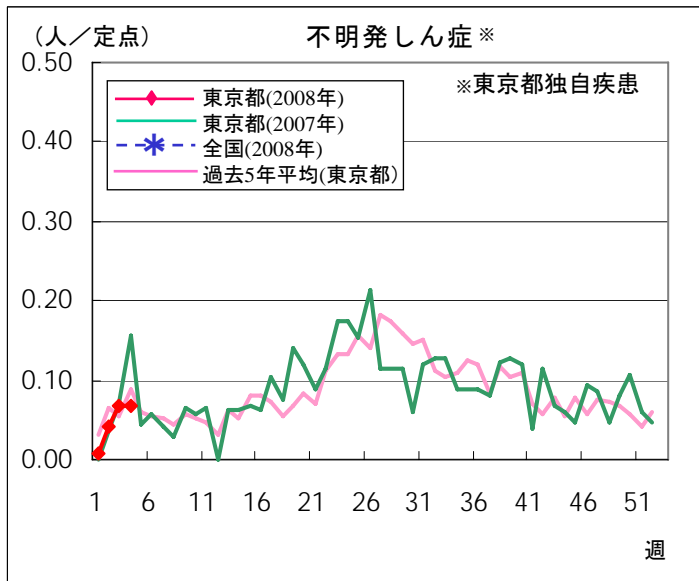
定点当り報告数	0.18	0.07	0.02	8.60	-	0.21
---------	------	------	------	------	---	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年4週現在

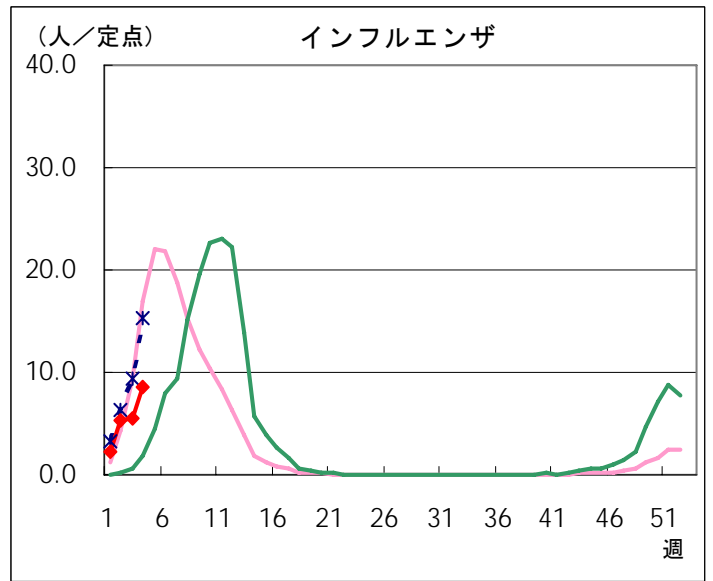
◆ 小児科定点



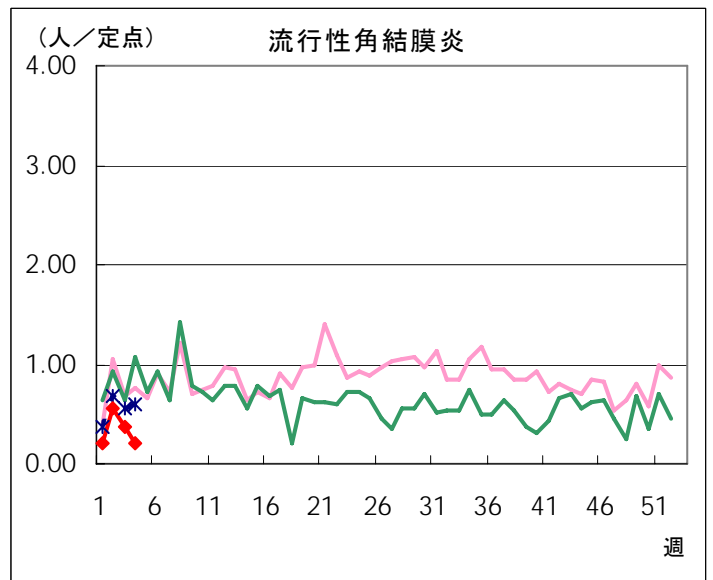
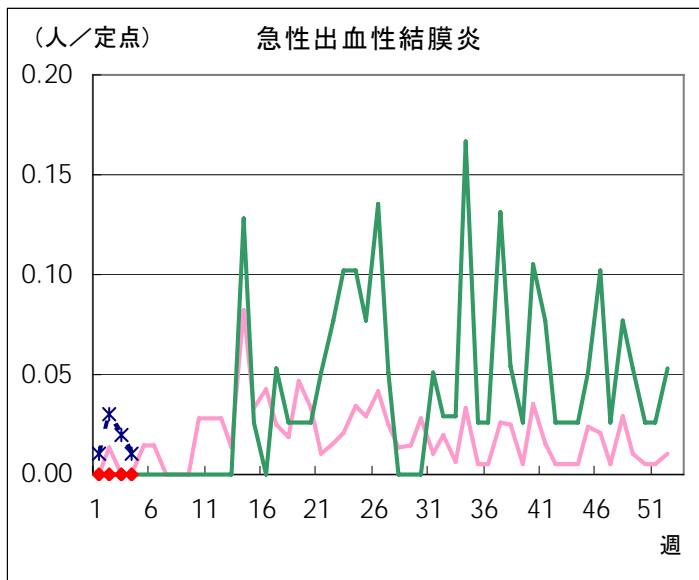




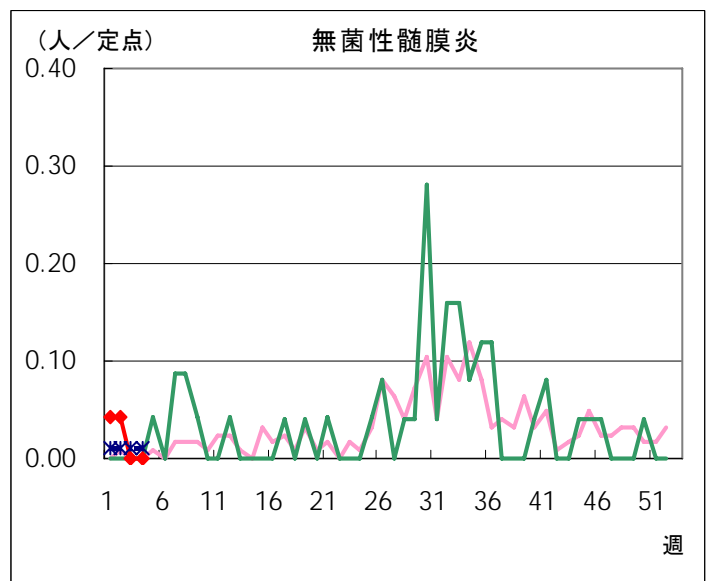
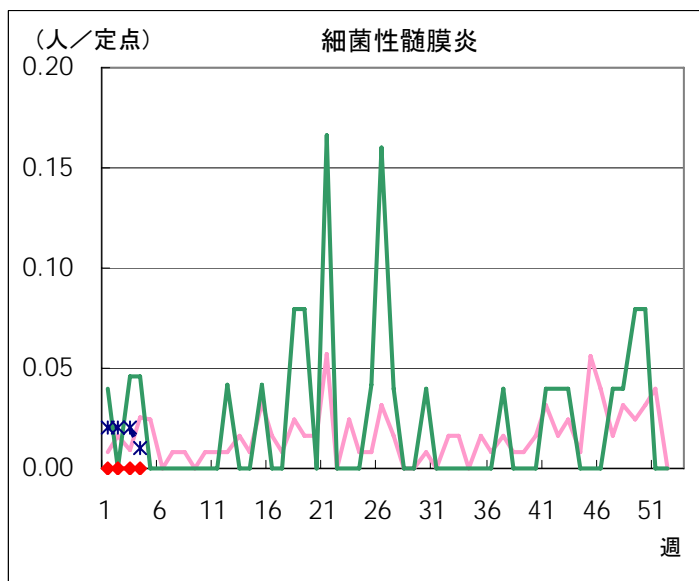
◆ インフルエンザ定点

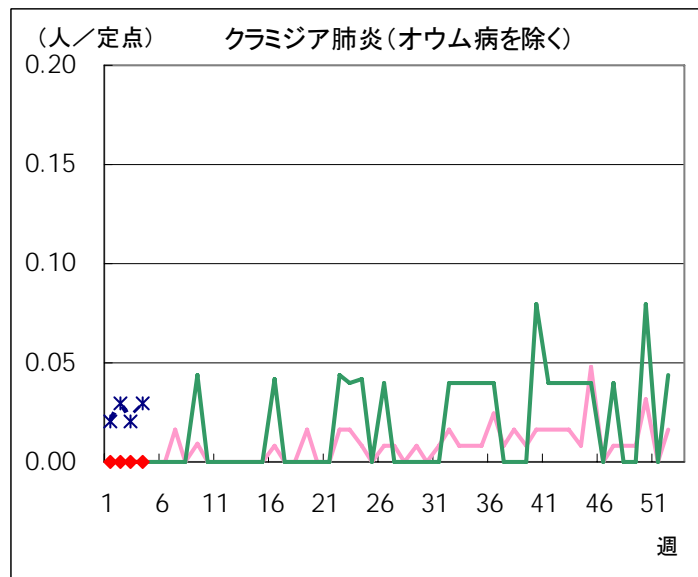
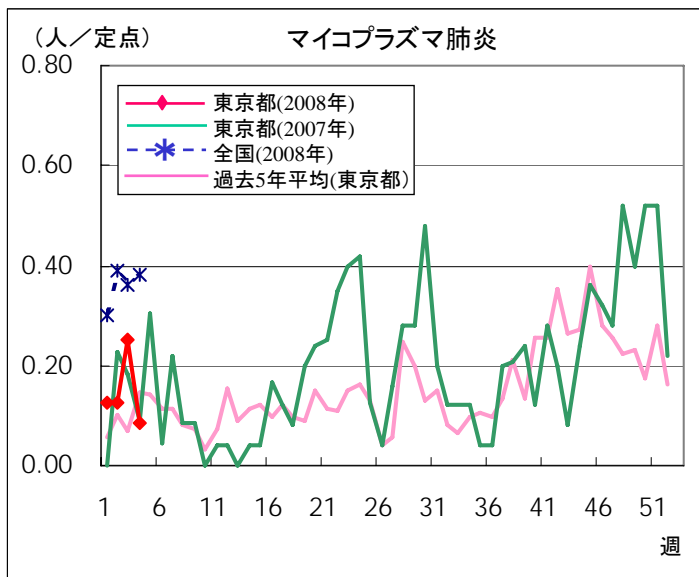


◆ 眼科定点



◆ 基幹定点





定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	3		
	10		
台東	4		
品川区	6		
	17		
目黒区	3		
	5		
	3		
大田区	8		患者5名のうちワクチン接種済者1名
	5		
	7		
	10	1	
	37		
	4		
	2		
	6		
世田谷	33		患者22名。A型は17名。
	17		
	6		
	3		
中野区	14	2	集団生活をしている施設で3日間に7名の発熱者がありました。2名はA型でしたが、5名は陰性でした。他にB型1名(84歳)いました。
		1	
	10		
	1		
池袋			患者10名中4名はワクチン接種済み。
			患者5名。9歳男児1名はA型。
北区	2		
	15		
	2		

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
板橋区	5		
練馬区	3		
墨田区	11		
足立	2		患者7名中A型6名
	6		
	4		
西多摩	3	2	A型3名は20歳代、30歳代、40歳代各1名、B型2名は20歳代。 患者4名。うち3名(1歳女、40歳代男女)はワクチン1回接種済み。
	47		
	2		
多摩立川	5		患者7名。うち6才女兒1名はA型 患者9名全員A型(11歳男性1名・女性3名、13歳女性1名、22歳女性1名、28歳女性1名、47歳男性1名、55歳女性1名)。 患者18名。うちB型3名
	9		
		3	
多摩府中	4		患者6名。タミフルを使用した者4名、使用しなかった者2名。6名すべて精神症状の出現はなし。
	9	1	
多摩小平	6		患者23名。A型が再び増加。若年者に偏っています。
	4		
	36	1	
	18		
	33		
	15	1	
八王子市	36		B型1名は60歳代。
	41		
	3	1	
	1		
	6		
	4	1	
	30		

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
12/25	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	菌株 (咽頭由来)	A群溶血性レンサ球菌T-12型	血清型別
12/26	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	菌株 (咽頭由来)	A群溶血性レンサ球菌T-12型	
1/9	インフルエンザ	34	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	遺伝子
1/9	インフルエンザ	37	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/10	不明発しん症	1	記載無し	ヒトヘルペスウイルス6型、7型	
1/11	耳下腺腫脹	6	咽頭拭い液	EBウイルス	
1/11	急性胃腸炎	8	直腸拭い液	ノロウイルス	
1/11	インフルエンザ	37	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/12	インフルエンザ	記載無し	うがい液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/12	腸炎	4	糞便	ノロウイルス	
1/12	頸部リンパ節炎 発熱	4	咽頭拭い液	ライノウイルス	
1/12	インフルエンザ	7	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/12	インフルエンザ	44	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/13	脳症	21	血清	単純ヘルペスウイルス	
1/14	けいれん重積	1	髄液	ライノウイルス	
1/15	耳下腺腫脹	7	咽頭拭い液	ムンプスウイルス EBウイルス	
1/15	インフルエンザ	2	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/15	インフルエンザ	12	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/16	喘息様気管支炎	10M	咽頭拭い液	アデノウイルス インフルウイルスAH1型	
1/16	感染性胃腸炎	63	直腸拭い液	ノロウイルス	
1/16	インフルエンザ	38	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/16	インフルエンザ	35	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/16	インフルエンザ	39	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/17	急性上気道炎 インフルエンザ	8M	咽頭拭い液	アデノウイルス	
1/17	ウイルス性発しん症	10M	咽頭拭い液	アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
1/17	インフルエンザ	31	うがい液	インフルエンザウイルスAH1型	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/17	感染性胃腸炎	60	糞便	ロタウイルス	抗体
1/18	耳下腺腫脹	2	咽頭拭い液	ムンプスウイルス EBウイルス	遺伝子
1/18	不明熱	0	結膜拭い液	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 コアグララーゼⅢ型	分離・同定 血清型別
記載無し	急性胃腸炎	3	直腸拭い液	ロタウイルス	抗体

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2007/2008年							
		47	48	49	50	51	52+1	2	3
ウイルス	アデノウイルス	2	19	16	20	10	1	2	3
	ライノウイルス	1			5	1	3	2	2
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	6	10	6	4	2		1	
	単純ヘルペスウイルス		3	2			1		1
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7		6	5	2	2	1		2
	EBウイルス		2	1		2	1		3
	サイトメガロウイルス		1	2			1		
	ムンプスウイルス		1			1			2
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19	1							
	RSウイルス	5	2	6	13	8	3	8	
	ノロウイルス	2	15	18	9	8	4	5	3
	ロタウイルス								2
インフルエンザウイルスAH1	6	3	10	5	22	8	25	13	
インフルエンザウイルスAH3							1		
インフルエンザウイルスB			1						
デングウイルス									
その他のウイルス					1	2			
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	その他の細菌			1	1	1			
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2007年47週～2008年3週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他		
搬入検体数	146	30	70	93	32			8			3	5	9					119	
ウイルス	アデノウイルス	10	16	15	19			2			2	2	1					6	
	ライノウイルス	2	3	4	1													4	
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群																		
	コクサッキーウイルスB群																		
	エコーウイルス																		
	エンテロウイルス71																		
	その他のエンテロウイルス		4	9	8	1						1	1					5	
	単純ヘルペスウイルス				1	3												3	
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																		
	ヘルペスウイルス6/7			2		1						3						12	
	EBウイルス												6					3	
	サイトメガロウイルス			1														3	
	ムンプスウイルス													4					
	麻しんウイルス																		
	風しんウイルス																		
	パルボウイルスB19											1							
	RSウイルス	1	7	35	1													1	
ノロウイルス			1	60													3		
ロタウイルス				2															
インフルエンザウイルスAH1	87		5																
インフルエンザウイルスAH3	1																		
インフルエンザウイルスB	1																		
デングウイルス																			
その他のウイルス			1	2															
細菌	カンピロバクター																		
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌																		
その他の細菌	2										1								
その他の病原体																			